

坂下高校
賢・剛・優

高大連携出前授業

坂下高校は、昨年秋に中京学院大学と高大連携の締結を行いました。その一環として、9月9日(金)に「地域課題解決とSDGsとのいい関係を考える」というテーマで中京学院大学経営学部長 須栗大教授に講義をしていただきました。スマホを用いたアンケート形式の講義で非常に分かりやすく、生徒も活発に周り意見交換をすることで、SDGsを身近に感じることができました。これからのSDGsを意識した生活に繋がっていききたいと思います。



坂下中学校
超升先輩

全員でつくり上げ、一人一人が輝ける体育祭

9月16日(金)、熱中症の心配のない涼しい天候のもと、令和4年度坂下中学校体育祭を開催しました。今年度も参観者の人数を制限したり、健康観察等(PTA本部役員の方のご助力を頂きました)を行ったりと、様々な制約がある中での実施となりました。しかし、生徒たちは、取組期間も含めて精一杯活動し、仲間と関わり、その絆をさらに強くすることができました。当日は、全校生徒のキラキラ輝く姿があふれた体育祭となり、一人一人が確かな成長を実感できる体育祭を創り上げることができました。



坂下小学校
ダイヤモンド

命の授業

9月13日(火)に、前田動物病院院長の前田敬生様をお招きして、「命の授業」を実施しました。前田先生からは「生きているということ」をテーマに、おへその話、命の誕生の話、祖先の話、環境問題、チクチク言葉とふわふわ言葉など、様々な視点から命について教えてもらいました。参加した5・6年生は「食べ物は生き物の命だから、大切にできるように、できるだけ残さず食べたい。」「家族を大切にしたいと思いました。」「ふわふわ言葉を増やして、もっと仲間を大切にしたい。」などの感想を話していました。この授業をきっかけに、児童会による「ふわふわ言葉をふやそうキャンペーン」にも取り組みました。



坂下保育園
かがやく瞳

運動会

今年も9月の中旬から運動会の取組みが始まりました。晴れた日には朝から裸足になって園庭で遊び、そのまま運動会の練習が始まります。「裸足でいい?」と朝から嬉しそうなお子様達です。玉入れ、リレー、リズムなど、どの競技も楽しく、「楽しかった〜。」「もう1回やりた〜い。」など、子どもたちのやる気が伝わってくる毎日です。未満児の子達も大きい子の姿を見ながら、自分たちも!と張り切る姿がとてもかわいいです。コロナ対策で密を避けるため、観客は同居家族二人と制限があるものの、今年も運動会ができることが嬉しいです!



《 11月の主な行事 》

日曜日	行事名	時間	場所
2	坂下文化祭(4日まで)		
10	いきいき元気教室	13:30~15:00	坂下公民館3階大会議室
16	行政・人権相談 がん検診(予約が必要です)	13:30~15:00 8:30~11:00	坂下総合事務所第2庁舎 あおぞら
20	ひまわりの会チャリティーバザー(23日まで)	10:00~12:00	坂下総合体育館
23	第48回 杖の湖駅伝大会	9:15~	杖の湖広場
24	献血(400ml限定)	14:00~16:00	あおぞら
25	やさか地区農業委員会・農地相談 定例区長会	9:30~ 13:30~	坂下総合事務所 坂下総合事務所第2庁舎
27	坂下歌舞伎公演	13:00~	坂下公民館

ごみの収集日

燃えるごみ	毎週 月・木曜日
燃えないごみ	11月2日(水)
資源・硬質ごみ	11月9日(水)
大型ごみ	11月18日(金)
有害ごみ	11月の収集はありません

人口と世帯数

(令和4年10月1日現在)

人口	4,161人(前月比12人減)
世帯数	男2,017人、女2,144人
	1,669世帯(前月比3世帯減)

慶弔のお知らせ

9月11日から10月10日の
坂下総合事務所への届出分

●ご逝去 (敬称略)

もり 森 よしゑ (101歳)	中 外
いといがわ 糸魚川 銚一 (91歳)	島平二
やすえ 江 まつ子 (92歳)	新 田
いといがわ 糸魚川 たず江 (95歳)	新 田
ほら 原 ゆき枝 (90歳)	中 外

編集・発行

中津川市 坂下総合事務所

電話	0573-75-2111
FAX	0573-75-4704
Mail	sakashita-office@city.nakatsugawa.lg.jp

さかしたタイムズ
ときめき・かがやき・つながる さかした

2022年(令和4年)11月1日



株式会社高峰楽器製作所よりご寄付をいただきました

株式会社高峰楽器製作所(代表取締役 楯 勇己様)より会社創立60周年を記念し、坂下地域の子どもたちへの支援と坂下地域づくりのためにご寄付をいただきました。これまでも、高峰楽器ふれあいコンサートの会場に坂下地域学校等備品整備を目的とする募金箱を設置し、計39回、合計3,634,063円のご寄付を頂いています。

○寄付先と金額

坂下保育園	1,000,000円
坂下小学校	1,000,000円
坂下中学校	1,000,000円
中津川市へ(坂下地域づくり)	3,000,000円
合計	6,000,000円



タオルのご寄付をいただきました

令和4年9月12日(月)、中津川市理容組合坂下支部(代表 原 美佐子様)から坂下老人保健施設へタオル150枚のご寄付をいただきました。ありがとうございました。



▲ 10月14日(金)中津川市役所で贈呈式が行われ、目録が楯 勇己様から青山市長へ渡されました。ご寄付をいただき、ありがとうございました。

○寄付先と金額

坂下保育園	50,000円
坂下小学校	50,000円
坂下中学校	50,000円
国保坂下診療所	30,000円
坂下老人保健施設	30,000円
県立坂下高等学校	30,000円
坂下まちづくり協議会	30,000円
やさか青少年健全育成	30,000円
NPO法人やさかイキイキ倶楽部	20,000円
消防団坂下分団	20,000円
坂下花馬保存会	20,000円
社会福祉協議会坂下協議会	20,000円
やさかふるさと花火大会実行委員会	10,000円
合計	390,000円

還暦の会の皆さんからのご寄付



今年度も還暦実行委員会〔昭和37、38年生まれ還暦を祝う会 会長 早川 美男様〕から右記のとおり13の施設や団体に、ご寄付をいただきました。ありがとうございました。

▲ 還暦実行委員会から国保坂下診療所 藤田所長へ

～坂下ゆうゆう倶楽部・9月～ 自作のそばに舌鼓

9月27日(火)道の駅「きりら坂下」で、「坂下ゆうゆう倶楽部」の講座としてそば打ちを行いました。椈の湖産のそば粉を使い、きりらのそば打ち体験のインストラクター・今井千鶴さんと西尾待子さんに教えてもらいながら、参加者20人ほどがそば打ちに取り組みました。初めて体験したという人がほとんどで、そば粉のまとめ方、生地を伸ばす力加減、均等にそばを切るなど難しかったようですが、苦勞の末できあがったそばは喉越しなめらかでとても美味と、皆さん満足そうでした。

これからまた新そばの季節を迎えます。11月からは1階レストランも再開というお話があり、「とても楽しみ」「またそば打ちに挑戦したい」と感想が寄せられました。



健康推進員と歩こう!

ウォーキングのご案内



日 時	集合場所	距 離	コ ー ス
11月2日(水) 10時～	山口総合事務所駐車場	2.6km	総合事務所～椿苑(往復)

持ち物：タオル・飲料水・帽子・マスク・動きやすい服装・靴・リュック

※申し込み不要、参加費無料、雨天中止

お問い合わせ：各地区の健康推進員さん または 坂下健康福祉会館あおぞら TEL: 70-1016

宝くじ助成金で会議用机・椅子などを整備しました

(一財)自治総合センターのコミュニティ助成事業の補助を受け、坂下地区の上外自治会が高齢化に対応するため、テーブル方式での会議などで使用する机・椅子、一時避難所での情報収集のためのテレビ、OA 機器や避難者の暑さ寒さの対策としてエアコンを整備しました。



ひまわりの会からのお知らせ

11月20日(日)～23日(祝)に、坂下総合体育館にてチャリティーバザーを小規模で開催します。みなさまのご協力をお願いします。

献血でつながる命つながる心

400ml献血にご協力をお願いいたします!

日時：11月24日(木) 14時～16時受付

場所：坂下健康福祉会館あおぞら

※ご協力いただいた方には美濃坂下ライオンズクラブ様より卵のプレゼントがあります。

新型コロナワクチン接種のお知らせ②

■オミクロン株対応ワクチン追加接種

令和4年中に希望者がオミクロン株対応ワクチン接種できるように、順次接種券を発送し、接種を行なっています。

■接種券が届かない方へ

接種券を紛失した方など接種券がない方は再発行手続きをしてください。

☞広報なかづがわ11月号11ページ参照 中津川市HP



■中津川市コロナワクチンコールセンター

☎0573-65-5100 (受付時間：平日9時～17時)

郷土文化財紹介

郷土文化財保存会員

しらき ひきやす
白木 久裕

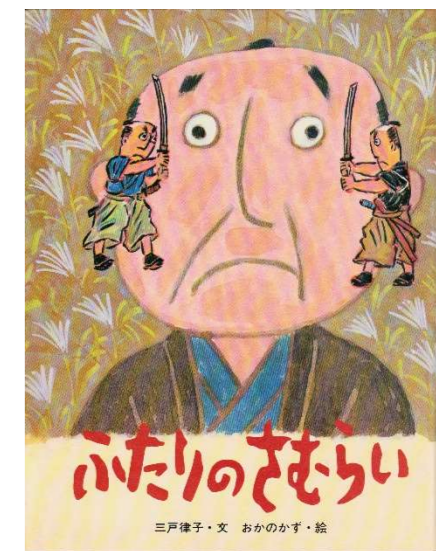
<坂下の昔話1 ふたりのさむらい>

今から50年ほど前、坂下中学校に文芸部という活動がありました。三戸律子先生が中学生と握地域の古老のお宅を訪問して、語り継がれた民話をテープに聞き取り、絵本にされました。また、大橋和華先生と一緒に収集された「恵那昔話集」にも掲載されて、他に沢山の民話があります。その中から「二人のさむらい」「勝負が池のいがいこつ」の題名で書かれているものを取り上げてみました。次のお話は、握の林彦太郎さんから聞かれたものです。

それは、『その昔、この辺りで一番高い高峰山の頂上に氷餅屋(こおりもちや)があって、苗木の赤壁城の殿様が戦いの折の食料にしていました。二人の侍は殿様の命令で氷餅を買いに高峰山に来て、道々話をしました。ささいな話から口争いになり、とうとう刀を抜きあって果たし合いをすることになってしまいました。握の権吉さんは苗木の城下町で用を足し勝負が池に来たとき、この二人の侍に出くわして立会人を無理矢理押しつけられてしまいました。「おたちい」で侍二人は刀を振り上げてにらみ合ったが、むんずとも動かん。「おひきい」の掛け声で刀を下ろし肩で荒い息をする。なんど繰り返しても肩で息をして動かん。そのうち権吉さんは小便をもよおし、二人がにらみ合っている間に少しずつ後ろへ退いて、身を隠したところでブルブルと身震い怖くなって家へ逃げ帰ってしまいました。秋も過ぎ冬が来て高峰山が雪化粧したころ、権吉さんは高峰山の向こうの親類に用ができて勝負が池の側まで来ると、二人の侍は刀を振り上げて骸骨となりにらみ合ったまま立っていました。権吉さんが思わず「おひきい」の掛け声を発すると骸骨はガラガラッと崩れ落ちました。いつしか、その上に土が積もり二つの土盛りとなり、そこに二つの祠が作られました。』と言う話です。

1996年「日本のみんなえほん5 ふたりのさむらい」(文・三戸律子 絵・おかのかず)として発行されました。この結びの文に三戸先生は『「ふたりのさむらい」についてと題して、「二人の侍が道々でどんな話をしたのかは知るよしもありませんが、ささいな口争いから、とうとう刀を抜きあって果たし合いをすることになってしまいました。立会人を頼まれた権吉は、怖くなって途中で逃げ帰ってしまいますが、きっと(若い命を二人ながら落とさなならんとは、武士とはなんたら不都合なもんじゃ)とあきれ返ったことでしょう。このごろは高峰山も開発会社が入り、高峰分譲地として売り出され自動車道路が造られ、赤い屋根、青い屋根の別荘が建ち始めました。道路から十メートルほど入るとわずかな窪地があります。ここが勝負が池の跡地です。この地の持ち主であり、お話をしてくださった握の林彦太郎さんは、(高峰山が別荘地にかわっても、この勝負が池だけは残しておきたいと思ってなも)と言われました。そんな強い思いに使命感をかき立てられえほんにしました。』と述べてみえます。

坂下保育園保護者会では、このお話をカラーの創作影絵とし園児らに上演されました。美しい影絵ですが怖い話でした。かつて保育園に勤められた鎌田先生からその影絵の写真をご提供いただきました。



上は「日本のみんなえほん」表紙
下は保護者会による影絵の上演より



毎月第3日曜日は「家庭の日」中津川市青少年健全育成推進市民会議

・いじわるや なかまはずれは ないですか